

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

コード	名 称		コード	名 称	
事業名	1076	青少年健全育成事業	会計	01	一般会計
基本施策	37	子どもたちの健やかな成長を促す	款	10	教育費
			項	05	社会教育費
			目	04	青少年育成費
担当部課名	教育委員会島ヶ原分室		細目	101	青少年健全育成事業
作成者氏名	川口正仁	連絡先	細々目	01	青少年健全育成事業
		(59)2058			

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)				
	島ヶ原地区において、各種協議会や自治会連合会島ヶ原支部、学校教育関係等で組織された島ヶ原地区青少年育成市民会議により、児童・生徒を対象に青少年の健全育成に取り組む。	家庭、地域、学校の連携が密となり「地域の子どもは、地域で守り育てる」機運が高まる。又、野外活動など直接体験の機会を通じ「協調性」や「自中心」が養われ社会の基本的なルールの理解が深まる。				
本年度事業内容	○子ども自然体験学習事業 ・小学5・6年生対象 ○親子ふれあい体験学習事業 ・中学3年親子対象					
開始年度	平成	年度	終了年度	平成	年度	根拠法令・要綱等

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.25	0.25	0.25
人件費合計(A)	1,800	1,800	1,800
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	900	780	660
委託料	900	780	660
その他			
合計(A+B)	2,700	2,580	2,460
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	2,700	2,580	2,460
上記①～③に関する特記事項	平成18年度より3ヶ年間10パーセントずつ減額		

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
子ども自然体験学習参加児童数	人	38	35	37			
親子ふれあい体験学習参加者数	人	39	50	28			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
自然体験学習参加率 (参加者数/小学4・5年の該当生徒数)	該当する生徒数を分母とし、参加者数を分子とした。	%	100 目標 (100)	100	100
ふれあい体験学習参加率 (参加者数/中学3年の該当親子数)	該当する親子数を分母とし、参加者数を分子とした。	%	100 目標 (100)	100	100

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

小学生児童や中学生親子を対象にした体験学習は、島ヶ原小・中学校やPTAの協力を得て実施している。
--

評価	必要性	4	子どもふれあい体験学習事業等今後も、島ヶ原小・中学校やPTAの協力を得て実施していく必要がある。	総合評価
	有効性	4		A
	達成度	4		
	効率性	4		